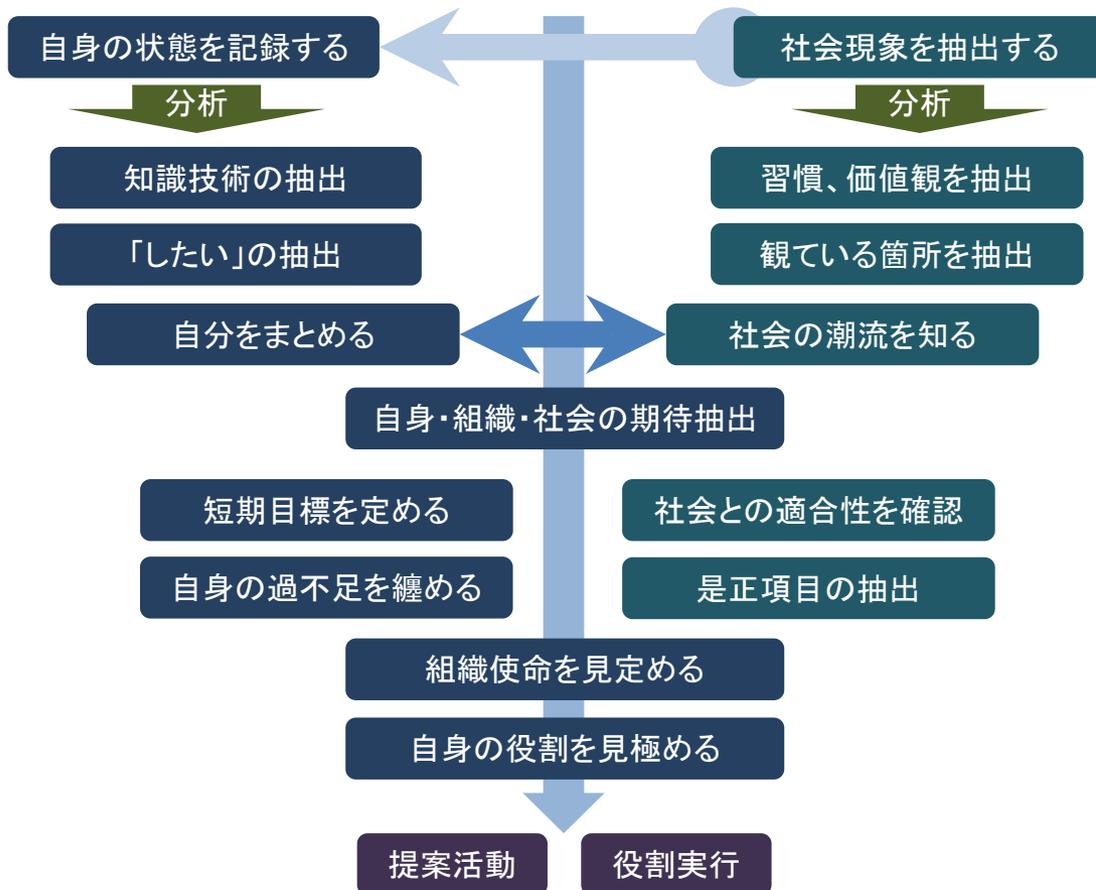


成長のための自学習

個人は一人だけで成長しない。必ず周辺、組織、社会が存在し、個人と比較し、個人が適応して成長する。自らと社会を分析し比較するところから始める。



成長するための自己努力の工夫

第一の方法 自らの目的、目標をもって毎日を活動しよう。

自らの思考、行動のブレを小さくする。振り返りがしやすい。

第二の方法 毎日、確実にを行う事柄or特定時間を作り、一日のヘソにしよう。

自分だけの時間を一日の中に設ける。自らを考える時である。

第三の方法 常に完璧を目指すようにしよう。

常に完璧をめざし、成長する。完璧であろうとして、自分に対しての偽りがなくなる。

第四の方法 一年から三年の周期を持って新しいものを学んでいこう。

新分野の科学の学習は、考える方法、行動の方法のアプローチを増やしていく。より多くを視るようになる。

第五の方法 自らが求められている事柄、役割を徹底して考えよう。

与えられた役割であっても、自らだけが成しえる事柄を知る。成果が大きくなっていく。

第六の方法 大切な事柄を行おうとするとき、必ず書き留めておこう。

やりたいことと出来ることは違う。得意になるものを探す。

第七の方法 自らを超える人材を育てるようにしよう。

自らを超える人材を育てようとする限り、自らは成長を続ける。

第八の方法 気付きは意識に留めて置くために必ずメモを取ろう。

気付きをメモに取る習慣は、視る習慣を養っていく。